

# 校長室から

平成29年8月29日

石巻市立山下小学校 校長 平山 和紀

## 安全で充実した夏休み お陰様でした

### 2学期も やさしく・かしこく・げんきよく

38日間の夏休みが終わり、子供たちの明るい笑顔と歓声が学校に戻ってきました。今年は雨の日が多く、例年のような暑い夏ではありませんでしたが、それでもそれぞれ様々な体験をし、一回りたくましくなったように思います。昨日の始業式では、穏やかに落ち着いた中で、一人一人いい夏休みとなったことや、新学期への意欲を感じさせられました。

休み中は、お陰様で大きな事件・事故もなく過ごすことができました。当たり前といえば当たり前ですが、当たり前前に全員揃って2学期をスタートできることは、とても幸せなことです。保護者・地域の皆様には、家庭での声かけを始め、地区内のパトロール、子供会での楽しい活動、川開きパレードでのご声援、おやじの会の「スプラトゥーン」等、安心・安全で充実したご指導を賜り、ありがとうございました。

さて、夏休みの大きな楽しみの一つがプールですが、天候の関係で昨年よりも4日少ない15日間の開放となりました。人数も大幅減で1261名（-296名）でした。それでも初日の7月21日は、143名の子供たちが来るなど児童数の半分に当たる100名を越した日も4日間ありました。検定で目標をクリアして自信を付けたり、友だちともぐりっこをしたりして、夏休みならではの生活を満喫していたようです。保護者の皆様には、お子さんのプールカードへの押印等でご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。お陰様で、きまりの徹底された安全なプール開放とすることができました。

そして、2学期です。2学期は、夏休み中の体験や学習成果を踏まえながら、1学期の学習をもとに大きく飛躍する大切な時期です。月曜スタートということで、**特に今週は、早寝・早起き・朝ご飯で生活リズムを学校中心のものに切り替え**、落ち着いた生活をしていくことが大切です。うまく生活や気持ちの切り替えができないと、様々な問題が起きがちな時期でもあります。目標をしっかりともち、**今学期も凡事徹底**で一層の「やさしく かしこく げんきよく」の学期にしたいと思います。

特に、今年は65周年記念の学区民大運動会が10月にあります。11月には学習発表会もあります。大きな行事が続けて二つありますが、毎日の学習や当たり前の生活を大事にしながら取り組むことで、大きく成長するチャンスとなります。みんなで力を合わせ一つのものを創り上げていくことで、集団としても成長していきます。さらに、保護者・地域の方と一緒に取り組むことで、「山小っていいなあ!」「山下ってすごい!」という学校や地域に対する思いを一層強くしてくれることと思います。

この2学期、めんこいおらほの子供たちの笑顔と自信が一段と輝くよう、そして保護者・地域の皆様の明るい笑顔も一層広がりますようご理解・ご協力をよろしくお願ひい



# 山小のこと あれこれ H29 PART 1

## 開校記念学区民大運動会



開校30周年記念学区民大運動会の盾 (校長室)

今年は、昭和27年に開校した本校の65周年にあたり、5年に一度の学区民大運動会が行われます。地域とともにある山小らしい取組みで、学校・PTA・山子連・後援会・母の会・町内会等関係の方々で実行委員会を組織し、昨年11月から準備を進めてきています。関係の皆様方、並びに快くご寄付をいただいた皆様方に心から感謝申し上げます。

さて、この学区民大運動会、いつ頃から始まったのか調べてみました。開校以来の学校の歴史を記録している学校沿革史というものがありますが、そこに記録として残っているのは昭和57年5月に開校30周年記念学区民大運動会をしたというのがあります。その後は、5年毎に行われてきて、現在まで続いています。

では、その前は、というと昭和47年9月11日に開校20周年記念運動会(学区民大運動会という名前ではない)、52年にも25周年記念大運動会が行われています。

更に遡ると、昭和42年5月6日から開校記念体育祭という形で毎年行われ、46年まで続きました。

ということで、今と同じような開校記念学区民大運動会ということで5年に一度行われるようになったのは**昭和57年(今から35年前)**からということになります。ただ、その前にも5年に一度だったり、開校記念体育祭という名前だったりして行われてきたことを考えると、ルーツは昭和42年ぐらいまで遡れそうですね。

開校当時からの保護者・地域の方の学校に寄せる熱い思いが、この記念学区民大運動会としても脈々と引き継がれています。

## ご縁

先日、山形の日本海側をドライブして来ました。そば・地酒・温泉が、いつもキーワードの旅ですが、今回はそばのところが酒田のラーメンと鶴岡の麦きりとなりました。

日本海に沈む夕日を見て、温泉に入って、地酒を飲む…1日目のんびりと過ごしました。

次の日は、特に計画もなく、「んじゃ、善宝寺にでも行ってみっか。」(昔、人面魚で話題になったところ。ある年代以上しか分からないかも)と思いつくままに車を走らせました。

立派な山門をくぐり境内に入ると、荘厳な五重の塔や本堂が並んでいます。本堂では、ちょうど祈禱中で7、8人のお坊さんが一心にお経を唱えていました。見学もできるということで申し込むと、一人お坊さんが付いてくださり、説明を聞きながら回ることができました。合間に、石巻から来た、と言うと、「えっ、私も石巻なんです。」との話。今は、東松島に住んでいて、奥さんの家系がお寺さん。でも、そのお寺の跡継ぎがないので、その方がお寺を継ぐことになり、仕事をやめて善宝寺で修行中なのだとか。「それもご縁なんですね。」と人ごとのように言って、「どこのお寺ですか。」と聞くと、「〇〇寺」とのこと。「えっ、昔、その地の小学校に勤めていて、和尚さんにもお世話になりました。」と話す、そのお坊さん、「私の息子、〇〇ですが、もしかしてお世話になったのでは?!」なつかしい子供の名前に、「あの〇〇さん?!」とまじまじとお顔を見入ってしまいました。あまりの偶然にびっくり。しかも、3日後には修行を終えて帰るというではありませんか。「こんなこともあるんですね。」と不思議なご縁に感謝しながら見学を終えました。

人と人の出会いは、本当に不思議なもの。今、山下小でお世話になり、ここでの子供たちや保護者の皆さん、先生方、地域の方との出会いは、まさに偶然のもの。この偶然の出会い、山小ならではのよさも織り込まれ、お陰様でいいご縁にさせていただいていると感じています。このご縁に感謝し、これからも「今を」大切にしていきたいと改めて思いました。